

# 戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月12日	作成者名	久川 理恵	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	02 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	中心となる課	福祉部・福祉総務課
分野	03 参加型地域福祉	関係課	福祉部・福祉保健センター
施策	18 地域福祉の推進体制づくり		
施策の目的	市民の誰もが住みなれた場所で、いきいきと暮らすことができるよう、市民が必要な時に必要とする福祉サービスを受けられるようにします。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	上戸田地域交流センター管理運営事業
取り組み②	西部福祉センター管理運営費
取り組み③	東部福祉センター管理運営費
取り組み④	新曽福祉センター管理運営費
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
福祉センター利用者数	全4館の年間利用者数 (平成28年度より3センター)	人	203,335	213,516	189,803	193,540			
多世代交流のスペースの整備	多世代を対象とした居場所の確保	か所	4	1	1	1			
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>①上戸田地域交流センターは幅広い世代を対象とした事業を行い、多世代交流を図っているが、他の3福祉センターも、高齢者の生きがいの場づくりだけではなく多世代を対象とした事業展開が求められている。</p> <p>②福祉センターの使用料については、利用団体の多くが免除となっており、公平性が保たれていない。また、施設の老朽化に伴い年々施設維持費が増加していることから、利用者に対し応分の負担を求めていく必要がある。</p> <p>③福祉センターは貸室が主業務となっており、地域の福祉の拠点としての機能が不十分である。</p>	対応策	<p>①社会情勢の変化や市民ニーズに対応した施設への転換を目指し、見直しを進める。多世代にとって利用しやすく、集いやすい施設となるよう、幅広い世代を対象とした事業を実施していく。管理運営について、指定管理者制度の導入を視野に検討を進めていく。</p> <p>②使用料の適正化については、公平性・透明性を確保できるように条例の一部改正を行い、減額免除は原則廃止とした。今後は施設維持等を踏まえ、使用料の見直しを図っていく。</p> <p>③地域の福祉の拠点としての公共施設の在り方を検討する。</p>
----	---	-----	---

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	福祉センターの利用者数は、平成28年度は3館になった影響で減少したが、平成29年度、30年度と増加している。多世代交流スペースについては、上戸田地域交流センター同様、コミュニティ施設として施設の見直しを行う際（指定管理者制度の導入の際）に整備していく予定のため、概ね予定通りの進捗である
<b>B</b>		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	人員については、再任用職員を含めて適切な職員の配置・運用を行っていく。各福祉センターにおいては、老朽化に伴う維持管理費の増加が見込まれるため、修繕等を計画的に実施していく。平成30年4月1日以降は福祉センターの施設使用料の減免を廃止し、歳入の増加を図っていく。
<b>→</b>		

## (評価者コメント)

福祉センター、市民の交流や活動の場として、幅広い世代に利用される施設となるように、管理運営体制等について検討をしていく必要がある。また、同時に地域福祉を推進していくための小地域の拠点としての活用も研究していきたい。
---

# 戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月12日	作成者名	久川 理恵	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			H 31 予 算 額	事業費  うち 一般財源													
		事業コード	事業内容	事業区分	H29決算額		評価結果						事業の方向性	実施計画候補			施策内優先度	コメント											
					H30予算額		事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性																	
					H 31 計 画 額	事業費													うち一般財源	うち一般財源									
02 西部福祉センター管理運営費 (福祉総務課)																													
		西部福祉センター管理運営費			31,598											センターのあり方を検討する。	0												
	01	03	01	06	02	01	任意	1	○	B	B	B	B	1	○		C	0											
		60歳以上の市民が利用する「いこいの室」において、映		32,792																									
				32,005																									
				14,346																									
03 東部福祉センター管理運営費 (福祉総務課)																													
		東部福祉センター管理運営費			34,605											センターのあり方を検討する。	0												
	01	03	01	06	03	01	任意	1	○	B	B	B	B	1	○		B	0											
		60歳以上の市民が利用する「いこいの室」において、映		40,958																									
				40,958																									
				36,364																									
				16,553																									
04 新曽福祉センター管理運営費 (福祉総務課)																													
		新曽福祉センター管理運営費			46,152											平成30年度は天井改修工事のため、単年度の予算規模は拡大。	0												
	01	03	01	06	04	01	任意	1	○	B	B	B	B	1	○		B	0											
		60歳以上の市民が利用する「いこいの室」において、映		170,306																									
				47,300																									
				45,230																									
				13,104																									
98 上戸田地域交流広場整備事業 (福祉総務課)																													
		上戸田地域交流広場整備事業			120,799											平成29年度供用開始。	0												
	98	01	03	01	09	98	任意	9	B	B	B	B	9	終	0														
		・整備予定地は、旧上戸田福祉センター及び旧上戸田保育		0																									
				0																									
				0																									
01 上戸田地域交流センター管理運営事業 (福祉総務課)																													
		上戸田地域交流センター管理運営事業			88,635											29年度途中より上戸田交流広場管理事業が追加された。	0												
	01	03	01	10	01	01	任意	1	○	A	B	B	A	1	○		A	0											
		・戸田市地域交流センター・上戸田地域交流広場とも、指		90,598																									
				90,500																									
				89,689																									
				13,794																									
計 (千円)					事業費	321,789												0											
					うち一般財源	317,986												0											

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 平成31年度で終了    8 平成30年度で終了    9 平成29年度で終了